

[04_06]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1467992>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 4 (6), 1971-12-03. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

カードの作表、複製プログラムおよび制御文について

カードの作表、複製については、すでに専用ファイルを利用したり、FORTRANでプログラムを作成して実行している方々もおられるようですが、今回のクローズドパンチ室におけるカードの作表、複製業務の中止に伴い、効率のよい作表、複製のプログラムを作成し、これを利用するジョブ制御マクロを登録いたしました。このプログラムは、入出力だけを取扱うため、CPU時間はわずかしか使用しませんし、プログラムの大きさが非常に小さい（1KW程度）ので、多重処理、多重プログラミング（主記憶上に二つ以上のプログラムが入って並行して実行される）を行なっている場合には、一般のプログラムのすき間に入ってあき時間を利用して実行されるので、システムの処理能力にはほとんど影響を与えません。したがって現在の負担金算出の一つの原則（他に迷惑をかける程度に応じて負担金を計算する）から負担金はわずか（100枚のカードのリスティングで10円程度）しか、かかりません。今までクローズドパンチ室の業務として無料でできていたものが、負担金を取られることになるわけですが、センター全体の効率よい運用を考えてのことですのでご了承ください。

※ カードの作表、複製用マクロ

\$ CARDCOPY

カードの作表、複製プログラムの呼び出し。\$ QJOBの次に入れる。

\$ SYSPCH

複製がある時に入れる。\$ JENDの直前。

※ カードの作表、複製用制御文

/// / m, n

m : 0 又は正整数。リストの部数。

n : 0 又は正整数。複製するカードの部数。

この制御文の次のカードから次の制御文又は\$ * 又は\$ JEND までの間のカードのリストおよび複製をそれぞれm, n部ずつ作成する。リストはこの制御文が出てきた時にページの先頭にセットされる。この機能を用いて一つのデッキのリストを適当な所でページ替をしながら作成することができる。

なお、作表および複製するデッキの中には、一般の制御カード(\$カード)は入つていてもよいが、\$ *、\$ JEND、および\$ NOと頭4文字が/// / m, nのカードが入つてはいけない。

※ デッキの構成例

\$ NO

\$ QJOB

\$ CARDCOPY

/// / m, nリスト2部

デッキ1

/// / m, nページ替してリスト1部

デッキ2

/// / m, nページ替してリスト1部

デッキ3

/// / m, n複製カード2部、そのリスト1部

デッキ4

\$ *、\$ JEND、\$ NO
があつてはならない。

\$ *区切り（次が\$ JENDの場合は無くてもよい）

\$ SYSPCH複製があるのでパンチ指定をする。

\$ JEND